

# 農林水産商工常任委員会資料

(令和6年11月29日)

## 項 目

- 令和6年度上半期の経営状況及び決算見込みについて  
..... 2ページ
- 竹内工業団地の土地長期貸付について（株式会社ながたに）  
..... 8ページ

企 業 局

# 令和6年度上半期の経営状況及び決算見込みについて

令和6年11月29日  
企業局経営企画課

## 1 電気事業

### (1) 令和6年度上半期の経営状況

営業収益は、令和5年台風第7号により被災した佐治発電所の停止や袋川発電所及び新幡郷発電所の機器故障による運転停止等により、販売電力量が前年同期比71.3%減の約1万1千MWhとなったことから、前年同期比2億52百万円減の4億12百万円となった。

また、営業費用は、修繕費(災害復旧費)等の増により前年同期比1億82百万円増の8億84百万円となり、営業損益は4億72百万円の赤字となった。

営業外収益は、加地発電所の発電側課金収入による増により前年と同程度、営業外費用は企業債利息の増により前年同期比1百万円増となり、経常損益は、4億71百万円の赤字となった。

なお、新幡郷発電所の機器故障による容量市場の退出に伴う特別損失が3百万円あったため、当期純損益は、4億74百万円の赤字となった。

### ○損益計算書(令和6年度上半期)

(単位:千円)

区分	R6年度(A)	R5年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	412,057	664,109	△252,052	
水力電力料	78,158	316,821	△238,663	台風第7号による被災に伴い佐治発電所が令和5年8月から停止しているほか袋川発電所及び新幡郷発電所が機器の故障による運転停止等のための減
風力電力料	29,850	53,132	△23,282	前年度故障した風車2号機の停止による減
太陽光電力料	186,095	178,531	7,564	日照に恵まれたことによる増
繰延運営権対価収益	0	62,873	△62,873	台風第7号による小鹿第二発電所の被災に伴い運営権対価収入を2年間繰延べたことによる減
運営権者更新投資収益	117,954	52,752	65,202	運営権者更新投資(春米発電所、小鹿第二発電所)の収益化による増
営業費用	883,560	701,530	182,030	
水力発電費	702,477	520,809	181,668	災害復旧費(修繕費)等による増
風力発電費	25,961	24,236	1,725	委託料の増
太陽光発電費	103,082	102,183	899	
一般管理費その他	52,040	54,302	△2,262	人件費の減
<b>営業損益</b>	<b>△ 471,503</b>	<b>△ 37,421</b>	<b>△434,082</b>	
営業外収益	14,819	14,644	175	
受取利息	185	14	171	
長期前受金戻入	11,452	13,884	△2,432	
雑収益	3,182	746	2,436	加地発電所の発電側課金収入による増
営業外費用	14,566	13,761	805	
支払利息	14,194	13,756	438	企業債利息の増
雑損失	372	5	367	
<b>営業外損益</b>	<b>253</b>	<b>883</b>	<b>△630</b>	
<b>経常損益</b>	<b>△ 471,250</b>	<b>△ 36,538</b>	<b>△434,712</b>	
特別利益	0	0	0	
特別損失	3,141	0	3,141	新幡郷発電所の故障に伴う容量市場退出費用
<b>当期純損益</b>	<b>△ 474,391</b>	<b>△ 36,538</b>	<b>△ 437,853</b>	

## (2) 令和6年度決算見込み

営業収益は、令和5年台風第7号により被災した佐治発電所の停止や袋川発電所及び新幡郷発電所の機器故障による運転停止等による売電量の大幅な減少に伴い、販売電力量を前年度比59.2%減の約1万9千MWhと見込み、前年度比1億37百万円減の7億37百万円の見込みとした。

また、営業費用は、修繕費（災害復旧費）等の増により前年度比1億16百万円増の18億69百万円の見込みとしたことから、営業損益は、11億31百万円の赤字の見込みとした。

営業外収益は、令和6年8月1日から運営権設定によりコンセッション事業者が運営管理している小鹿第一発電所及び12月1日から運営権設定予定の日野川第一発電所の運営権対価分割金利息による増等により前年度比28百万円増の1億17百万円と見込み、営業外費用は、同じく小鹿第一発電所及び日野川第一発電所の運営権譲渡に伴う消費税の支払いにより、前年度比8億19百万円増の8億91百万円としたことから、営業外損益は、7億74百万円の赤字の見込みとした。

なお、新幡郷発電所の機器故障による容量市場の退出に伴う特別損失が3百万円あったため、当期純損益は、19億8百万円の赤字の見込みとした。

### ○損益計算書(令和6年度見込み)

(単位:千円)

区分	R6年度(A)	R5年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	737,417	874,898	△ 137,481	
水力電力料	143,933	382,595	△ 238,662	台風第7号による被災に伴い佐治発電所が令和5年8月から停止しているほか袋川発電所及び新幡郷発電所が機器の故障による運転停止等のための減
風力電力料	56,919	93,735	△ 36,816	前年度故障した風車2号機の停止による減
太陽光電力料	300,657	293,065	7,592	日照に恵まれたことによる増
運営権対価収益	0	0	0	
運営権者更新投資収益	235,908	105,503	130,405	運営権者更新投資(春米発電所、小鹿第二発電所)の収益化による増
営業費用	1,868,896	1,753,087	115,809	
水力発電費	1,456,932	1,367,735	89,197	災害復旧費(修繕費)等による増
風力発電費	77,233	70,809	6,424	委託料の増
太陽光発電費	183,113	187,002	△ 3,889	減価償却費の減
一般管理費その他	151,618	127,541	24,077	退職給与金の増
営業損益	△ 1,131,479	△ 878,189	△ 253,290	
営業外収益	116,913	88,560	28,353	
受取利息	44,787	13,340	31,447	小鹿第一発電所及び日野川第一発電所の運営権設定に伴う分割金受取利息の増
長期前受金戻入	22,904	28,020	△ 5,116	
他会計補助金	9,748	1,564	8,184	基礎年金拠出額の増
雑収益	39,474	45,636	△ 6,162	退職給与金(他部局負担分)の減
営業外費用	890,765	71,565	819,200	
支払利息	23,882	26,859	△ 2,977	企業債利息の減
雑損失	866,883	44,706	822,177	小鹿第一発電所及び日野川第一発電所の運営権設定に伴う運営権対価の消費税(20年間分)の増
営業外損益	△ 773,852	16,995	△ 790,847	
経常損益	△ 1,905,331	△ 861,194	△ 1,044,137	
特別利益	0	0	0	
特別損失	3,141	0	3,141	新幡郷発電所の故障に伴う容量市場退出費用
当期純損益	△ 1,908,472	△ 861,194	△ 1,047,278	

## 2 工業用水道事業

### (1) 令和6年度上半期の経営状況

営業収益は、新規企業の給水開始等に伴い契約水量が前年同期比650m<sup>3</sup>/日の増となったことから、前年同期比7百万円増の2億11百万円となった。

また、営業費用は、修繕費等の減により前年同期比57百万円減の2億9百万円となったことから、営業損益は3百万円の黒字となった。

営業外収益は、長期前受金戻入の減により前年同月比2百万円減の50百万円となり、営業外費用が企業債利息の減により前年同期比2百万円減の22百万円となったことから、営業外損益は、27百万円の黒字となった。

以上により、経常損益及び当期純損益は、30百万円の黒字となった。

### ○損益計算書(令和6年度上半期)

(単位:千円)

区分	R6年度(A)	R5年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	211,461	204,537	6,924	
給水収益(日野川)	157,696	150,034	7,662	新規企業等の給水開始に伴う基本料金の増
給水収益(鳥取)	53,765	54,503	△738	
その他の営業収益	0	0	0	
営業費用	208,721	266,090	△57,369	
業務費	51,687	103,204	△51,517	修繕費の減
総係費	658	521	137	
減価償却費	156,367	162,365	△5,998	減価償却費の減
その他営業費用	9	0	9	
<b>営業損益</b>	<b>2,740</b>	<b>△61,553</b>	<b>64,293</b>	
営業外収益	49,778	51,466	△1,688	
受取利息	27	2	25	
長期前受金戻入	39,719	42,284	△2,565	長期前受金戻入の減
雑収益	10,032	9,180	852	
営業外費用	22,307	24,299	△1,992	
支払利息	22,307	24,299	△1,992	企業債利息の減(鳥取地区、日野川ともに減)
雑支出	0	0	0	
<b>営業外損益</b>	<b>27,471</b>	<b>27,167</b>	<b>304</b>	
<b>経常損益</b>	<b>30,211</b>	<b>△34,386</b>	<b>64,597</b>	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
<b>当期純損益</b>	<b>30,211</b>	<b>△34,386</b>	<b>64,597</b>	

## (2) 令和6年度決算見込み

営業収益は、新規ユーザー2社400m<sup>3</sup>/日の給水開始（5月）及び既存ユーザー2社250m<sup>3</sup>/日の増量により、前年度比14百万円増の4億21百万円の見込みとした。

また、営業費用は、東部事務所の施設更新（監視設備等）に伴う資産減耗費等の増により前年度比4百万円増の6億7百万円を見込み、営業損益は1億86百万円の赤字の見込みとした。

営業外収益は、長期前受金戻入の減により前年度比12百万円減の1億1百万円を見込み、営業外費用は企業債利息の減により前年度比6百万円減の41百万円を見込み、営業外損益は60百万円の黒字の見込みとした。

以上により、経常損益及び当期純損益は、1億26百万円の赤字の見込みとした。

### ○損益計算書(令和6年度見込み)

(単位:千円)

区分	R6年度(A)	R5年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	420,695	406,856	13,839	
給水収益(日野川)	315,372	301,006	14,366	新規企業の給水開始に伴う基本料金の増
給水収益(鳥取)	105,323	105,850	△527	
その他の営業収益	0	0	0	
営業費用	606,705	602,459	4,246	
業務費	268,612	285,344	△16,732	修繕費の減
総係費	3,573	1,150	2,423	委託料の増
減価償却費	312,733	306,495	6,238	資産取得(機械装置等)に伴う減価償却の増
資産減耗費	21,787	9,470	12,317	施設更新(監視設備等)に伴う資産減耗費の増
<b>営業損益</b>	<b>△186,010</b>	<b>△195,603</b>	<b>9,593</b>	
営業外収益	101,300	113,179	△11,879	
受取利息	27	3	24	
長期前受金戻入	79,438	82,280	△2,842	長期前受金戻入の減
他会計補助金	580	553		
雑収益	21,255	30,343	△9,088	退職給与金(他部局負担分)の減
営業外費用	41,412	46,912	△5,500	
支払利息	41,412	46,906	△5,494	企業債利息の減(鳥取、日野川ともに減)
雑支出	0	6	△6	
<b>営業外損益</b>	<b>59,888</b>	<b>66,267</b>	<b>△6,379</b>	
<b>経常損益</b>	<b>△126,122</b>	<b>△129,336</b>	<b>3,214</b>	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
<b>当期純損益</b>	<b>△126,122</b>	<b>△129,336</b>	<b>3,214</b>	

### 3 埋立事業

#### (1) 令和6年度上半期の経営状況

営業収益は、竹内工業団地において令和4年度に割賦払いにより分譲した企業から繰上償還があったものの、土地売却収益が減となり、前年同期比7百万円減の1億52百万円となった。

また、営業外収益は、短期土地貸付料等の増により前年同期比4百万円増の7百万円となったため、営業外損益は、4百万円の黒字となった。

以上により、経常損益及び当期純損益は、74百万円の黒字となった。

#### ○損益計算書(令和6年度上半期)

(単位:千円)

区分	R6年度(A)	R5年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	151,826	158,910	△7,084	
土地売却収益	79,535	84,891	△5,356	売却(割賦)の繰上償還(竹内1件)(前年同期:旗ヶ崎1件(0.6ha))
その他営業収益	72,291	74,019	△1,728	長期貸付地の再契約における貸付単価の見直しに伴う貸付料の減
営業費用	81,910	83,139	△1,229	
土地売却原価	67,031	63,794	3,237	売却(割賦)の繰上償還(竹内1件)の増
受託工事費	0	2,657	△2,657	竹内団地内の埋設物撤去費の減
一般管理費	9,903	9,211	692	
企業誘致費	4,976	7,477	△2,501	欠員に伴う人件費の減
<b>営業損益</b>	<b>69,916</b>	<b>75,771</b>	<b>△5,855</b>	
営業外収益	6,882	3,065	3,817	
受取利息	1,140	1,147	△7	
雑収益	5,742	1,918	3,824	短期土地貸付料の増
営業外費用	2,697	0	2,697	
雑支出	2,697	0	2,697	
<b>営業外損益</b>	<b>4,185</b>	<b>3,065</b>	<b>1,120</b>	
<b>経常損益</b>	<b>74,101</b>	<b>78,836</b>	<b>△4,735</b>	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
<b>当期純損益</b>	<b>74,101</b>	<b>78,836</b>	<b>△4,735</b>	

## (2) 令和6年度決算見込み

営業収益は、竹内工業団地において令和4年度に割賦払いにより分譲した企業から繰上償還があったとともに1件の新規分譲を見込み、前年度比55百万円増の2億18百万円の見込みとした。

また、営業費用は、土地の分譲に伴う土地売却原価等の増により前年度比52百万円増の1億47百万円を見込み、営業損益は、71百万円の黒字の見込みとした。

営業外損益は、短期土地貸付料等の増があったものの、前年度比1百万円減の5百万円の黒字の見込みとした。

以上により、経常損益及び当期純損益は、76百万円の黒字の見込みとした。

### ○損益計算書(令和6年度見込み)

(単位:千円)

区分	R6年度(A)	R5年度(B)	差引(A-B)	主な増減要因
営業収益	218,135	163,199	54,936	
土地売却収益	143,314	87,591	55,723	竹内1件(0.5ha)(前年同期:旗ヶ崎1件(0.6ha))及び割賦売却の繰上償還(竹内1件)
その他営業収益	74,821	75,608	△787	長期貸付地の再契約における貸付単価の見直しに伴う貸付料の減
営業費用	146,889	95,248	51,641	
土地売却原価	119,997	65,282	54,715	土地売却に伴う増(竹内2件(繰上償還1件含む))
受託工事費	0	2,657	△2,657	竹内団地内の埋設物撤去費の減
一般管理費	9,475	9,875	△400	
企業誘致費	17,417	17,434	△17	
<b>営業損益</b>	<b>71,246</b>	<b>67,951</b>	<b>3,295</b>	
営業外収益	7,568	6,115	1,453	
受取利息	1,140	1,244	△104	
他会計補助金	549	759	△210	
雑収益	5,879	4,112	1,767	
営業外費用	2,731	444	2,287	
長期借入金利息	0	0	0	
雑支出	2,731	444	2,287	
<b>営業外損益</b>	<b>4,837</b>	<b>5,671</b>	<b>△834</b>	
<b>経常損益</b>	<b>76,083</b>	<b>73,622</b>	<b>2,461</b>	
特別利益	0	0	0	
特別損失	0	0	0	
<b>当期純損益</b>	<b>76,083</b>	<b>73,622</b>	<b>2,461</b>	

# 竹内工業団地の土地長期貸付について（株式会社ながたに）

令和6年11月29日  
企業局経営企画課

竹内工業団地の3号地（境港市竹内団地214-1、218）について、株式会社ながたに（本社：島根県安来市）と長期貸付（事業用定期借地権設定）契約を令和6年10月22日に締結しました。

同社は、島根県安来市に本社を構えていますが、取引先は境港を拠点にしている事業者が多く、物流の拠点として便利な竹内工業団地に、新たに営業拠点を設置する計画です。

## 1 貸付先企業の概要

- (1) 名称 株式会社ながたに
- (2) 代表者 代表取締役 長谷 章夫（ながたに あきお）
- (3) 所在地 島根県安来市伯太町東母里1740
- (4) 業種 一般貨物運送業者
- (5) 従業員数 11人（会社全体）

## 2 貸付の概要

- (1) 貸付面積 4,565.93㎡（境港市竹内団地214-1、218）
- (2) 用途 事務所、駐車場
- (3) 貸付金額 1,881,163円/年（単価 412円/㎡・年）
- (4) 貸付期間 令和6年10月22日～令和16年10月21日（10年間）

## 3 貸付地での事業概要

- (1) 事業内容 一般貨物運送業者
- (2) 従業員数 新規雇用者数 2人
- (3) スケジュール 令和6年10月～12月 施設設置  
令和7年1月 事業開始

【竹内団地(長期貸付地付近)の平面図】



【参考】竹内工業団地の状況（令和6年11月1日現在）

区分		埠頭区域	工業用地	公共用地	計				
造	成	面積	16.9ha	78.3ha	33.4ha	128.6ha			
処	分	譲	面積	16.9ha	60.4ha	33.4ha	110.7ha		
分	長	期	貸	付	面積	0.0ha	14.8ha	0.0ha	14.8ha
未	処	分	面	積	0.0ha	3.1ha	0.0ha	3.1ha	
処	分	率	100.0%	96.0%	100%	97.6%			

(注) 残区画は2区画(3.1ha)